

忘年山行 熊倉山

山行 2019年12月1日(日)

参加者 八名

行程 下津谷木バス停 7:38=西武秩父駅 8:08—秩父鉄道御花畑 8:25=白久駅 8:43 白久駅 8:46—城山 10:17—熊倉山 13:05/13:20—林道—武州日野駅 16:07

今回の熊倉山は標高差約1,100m、歩行距離約13kmと、忘年山行の各コースの中では最もハードと思われ、前夜の宴会と二次会を飲み続けようやく午後11時頃に寝た筆者にとっては最初の1時間は足が重く全行程の中で一番きつかった気がします。その後足も慣れてくるにつれ変化に富んだ登山道を楽しむ余裕も少しづつ生まれてきました。

登りの城山コースは尾根道で、階段のアップダウンが続く登山道を息を弾ませながら1時間半歩くと熊倉城跡である城山に到着。急斜面と空堀に囲まれた攻めるのが大変そうな山城でした。城山を下ったところで林道と合流しようやく熊倉山登山口、まだ標高差が800mも残っており気を引き締めて登り始めます。ほかの登山客に会うことも無く静かな急坂を歩き続けますが、12月に入ったとは言えまだ晩秋の気配の森には紅葉が残っており日光に照らされ輝く色彩に癒されました。登山道は木々に囲まれています、少し開けた所で両神山など近くの山々を見ることができます。

登山者が二人だけの山頂にほぼ予定通りの時間に着きました。昼食と集合写真を撮ったのち日野コースを下山。山頂直下で登りのコースと分かれ急斜面をつづら折りに下ると「笹平」という平坦地に出ます。転石、倒木に見事な苔が生え幻想的な雰囲気を出しています。その先はまた急な下りで「官舎跡」という営林署の施設跡と思われる地点を通過し「三又」からは沢沿いの道に変わります。何度か沢を渡り、大きな石が転がり滑りやすくなった箇所もある難所でしたが、リーダーの的確なルート選びにより無事に通過し日野コースの登山口である林道に出ことができました。そこからは約1時間で武州日野駅、予定の電車には余裕をもって間に合いました。

健脚ぞろいのメンバーからは「厳しかった」の声も聞かれました。計画書の倍率1.1、リーダーの「ゆっくり行きます」の言葉にかかわらず、ほぼコースタイムで無事歩きとおすことができました。適切なペースを作っていたリーダーはじめ同行の皆様のおかげと感謝し満足感を得て帰路につきました。



熊倉山山頂 (1,426.5m) にて



急登を登る



沢を渡る